

会報



vol. **53**

2025年12月発行

第55回茨城県青少年相談員研修大会及び記念大会を開催しました



茨城県福祉部 市村 部長

日 時：令和7年10月29日（水）
13：30～16：30
場 所：茨城県庁9階 講堂
参 加 者：181名
大会内容：表彰式、講演会、大会宣言

県内各地域において青少年の健全育成活動を行う青少年相談員の資質向上と、さらなる活動の促進を目的として開催いたしました。



県青少年相談員連絡協議会 澤幡 会長



講演会

子どもたちのSOSを見逃さない

～学習障害が教えてくれたこと、寄り添う心の大切さ～



明蓬館（めいほうかん）高等学校 共育コーディネーターの南雲明彦先生にご講演いただきました。「読み書きがうまく出来ない」という困難から、引きこもりやうつなどに苦しんだ自身の体験を踏まえ、子どもがSOSを出せて、そのSOSを見逃さないために何ができるのか、今後の活動の参考となるお話をいただきました。



これまでのこと

- ・10歳（違和感）
- ・16歳～18歳（不登校）（自傷行為）（引きこもり）
- ・18歳（徘徊）
- ・19歳（カウンセラーとの出会い）
- ・21歳（高校卒業）（学習障害）

知事ほう賞（永年活動者）



（個人）

神 白 芳 伸 (北茨城市)	古 川 寿 子 (北茨城市)	黒 澤 啓 子 (北茨城市)	渡 辺 幸 子 (高萩市)	萩 市)
鈴 木 恵 子 (高萩市)	山 知 恵 子 (高萩市)	安 加 代 子 (日立市)	井 貴 美 子 (日立市)	日立 市)
齊 藤 陽 子 (水戸市)	幡 谷 美 恵 子 (小美玉市)	雄 一 (小美玉市)	榮 子 (鹿嶋市)	鹿嶋 市)
高 橋 健 次 郎 (鹿嶋市)	仙 土 健 一 (鹿嶋市)	代 田 直 誠 (鹿嶋市)	和 義 子 (神栖市)	神栖 市)
金 塚 茂 (潮来市)	栗 又 俊 樹 (かすみぐうら市)	藤 袴 代 方 (取手市)	瑞 代 (取手市)	取手 市)
南 雲 せ 子 (阿見町)	井 島 美 智 子 (阿見町)	英 也 (阿見町)	等 (境町)	境 町)
倉 持 京 子 (境町)	横 佐 代 子 (筑西市)	紀 富 雄 (筑西市)	稔 士 (筑西市)	筑西 市)
中 山 文 夫 (八千代町)	水 垣 正 弘 (八千代町)	湯 本 持 本 雄 (八千代町)	三 千 雄 (八千代町)	八千 代町)
北 島 直 廣 (八千代町)	野 村 浩 (八千代町)			

（団体）

那珂市青少年相談員連絡協議会 城里町青少年相談員連絡協議会 かすみぐうら市青少年相談員連絡協議会 筑西市青少年相談員連絡協議会

知事ほう賞（退任者）



丹 美穂子 (北茨城市)	佐 藤 忠 (高萩市)	上久保 眞理子 (常陸太田市)	池 田 清 美 (水戸市)	水戸 市)
茂 在 明 (神栖市)	金 山 浩 子 (石岡市)	大 野 裕 司 (牛久市)	宮 田 一 二 (古河市)	古河 市)
齋 藤 京 子 (古河市)	谷 島 君 夫 (古河市)	関 要 二 (古河市)	陣 内 詳 恭 (常総市)	常総 市)
森 崎 洋 子 (下妻市)	外 山 宗 一 (筑西市)	猪 瀬 明 子 (八千代町)		

表彰された方々を代表して

この度は青少年相談員の活動を通じ、知事ほう賞をいただき誠にありがとうございました。

仕事の関係で活動が思うように出来ない時期がありましたが、多くの皆様の支援とご指導のおかげでここまで活動できたことに対し厚く御礼申し上げます。

青少年相談員の活動も、青少年の健全育成と非行防止に向けた声かけ運動や有害図書の追放運動などが主な活動でした。近年、インターネットやスマートフォンの普及により青少年を取り巻く環境は大きく変わってきましたが、今後も地域、学校、関係機関と連携し、健全育成と非行防止に向けて支援して行きたいと思います。

八千代町青少年相談員 中山 文夫

功労者表彰（一般功労者表彰）



関根 勝 広（北茨城市）	田 中 伊智朗（北茨城市）	大 場 昭 仁（日 立 市）	松 井 博 之（日 立 市）
江 幡 隆 雄（常陸太田市）	小 林 俊 夫（常陸太田市）	中 野 栄（常陸太田市）	助 川 仁 一（常陸太田市）
大 武 修（常陸大宮市）	富 岡 進（水 戸 市）	岡 崎 充 芳（水 戸 市）	鈴 木 弘 美（水 戸 市）
袴 塚 耕 二（那 珂 市）	先 崎 武（那 珂 市）	平 野 久 子（那 珂 市）	山 田 修（那 珂 市）
石 崎 泰 子（那 珂 市）	井 上 礼 子（那 珂 市）	藤 本 弘 幸（大 洗 町）	舩 井 松 雄（東 海 村）
関 川 浩 之（潮 来 市）	篠 塚 哲 夫（潮 来 市）	小 沼 正 喜（鉾 田 市）	大 川 幸 一（土 浦 市）
田 端 悦 子（石 岡 市）	潮 田 壽 朗（石 岡 市）	小 林 秀 子（取 手 市）	濱 野 清（取 手 市）
杉 野 次 男（龍ヶ崎市）	松 嶋 美智子（龍ヶ崎市）	深 田 佳 子（牛 久 市）	飯 田 勝 子（牛 久 市）
湯 原 長 司（牛 久 市）	友 野 と も 子（古 河 市）	加 藤 常 吉（古 河 市）	荒 川 篤 志（古 河 市）
本 間 健 市（古 河 市）	浅 川 秀 雄（古 河 市）	佐 藤 四 郎（古 河 市）	柴 崎 孝 夫（古 河 市）
横 瀬 一 男（古 河 市）	古 橋 文 子（古 河 市）	海老原 敏 郎（坂 東 市）	霜 田 典 子（坂 東 市）
大久保 晴 雄（坂 東 市）	古 矢 芳 雄（常 総 市）	太 田 美恵子（結 城 市）	薄 猛（筑 西 市）
吉 村 忠 造（八千代町）			

功労者表彰（県連役員表彰）



飯 塚 壽 子（牛 久 市）	古 川 久 司（結 城 市）	神 白 芳 伸（北茨城市）	杉 本 優 子（高 萩 市）
遠 藤 たか子（ひたちなか市）	木 村 雅 道（茨 城 町）	須加野 栄（鉾 田 市）	米 川 利 恵（鉾 田 市）
高 野 典 昭（土 浦 市）	結 城 英 則（つくば市）	宮 田 道 子（かすみぐら市）	木 村 威 夫（美 浦 村）
田 村 由美子（阿 見 町）	五月女 安 彦（常 総 市）	黒 澤 重 美（常 総 市）	保 坂 悦 子（筑 西 市）

令和6年度茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)事業報告

事業実績及び成果

青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員活動の推進を図り、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的として、次の事業を実施しました。

監査報告

茨城県青少年相談員連絡協議会会則第9条の規定に基づき、令和6年度の事業報告書、収支決算書、その他の付属書類について、令和7年4月15日及び令和7年4月21日に監査した結果、会計事務処理並びに決算内容について適正であることを認め報告いたします。

監 監

令和7年4月21日
坂本英則
結城

令和6年度事業報告

実施事業名	実施期日	事業の概要
総会の開催	R6.5.30	・令和5年度事業報告及び収支決算について ・令和6年度運営方針及び事業計画、予算について (会場：茨城県市町村会館)
常任理事会の開催	① R6. 8.23 ② R6.11.29 ③ R7. 2.20	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。 ① 研修大会の運営及び功労者表彰等について ② 研修大会の結果及び協議会の運営等について ③ 総会の議案等について
その他の会議	① R6. 4.25 ② R6. 8.23 ③ R6.11.29	① 監査(高萩市会場) ② 機関紙第52号第1回編集会議 ③ 機関紙第52号第2回編集会議
機関紙の発行	R6.12(第52号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第54回青少年相談員研修大会	R6.10.30	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修大会を開催。(会場：県庁9階講堂) ・講演会 講師 中野レイ子氏 「子どもたちの健やかな成長を願って～寄り添うやさしさと立ち向かう強さと～」
功労者の表彰	R6.10.30	功労のあった青少年相談員に対し、知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。 ・知事ほう賞36名 ・功労者表彰26名
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長、ブロック選出の常任理事が参加し、相互に情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携強化を図る。
ブロック研修会(研究・協議を含む)の開催	R6.10～R7.2	ブロック研修会を通して、青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進。
地域活動推進(関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動の推進を図る。 ・社会を明るくする運動への参加。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等。 ・茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会及び20歳未満喫煙防止街頭キャンペーン
青少年相談員手帳の販売	R6.6	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を販売。
市町村等への補助金交付	R7.3	社会全体で青少年の健全育成と非行防止を推進するため、コンビニエンスストア等の青少年がよく立ち寄る業種の店舗への条例・関係法令遵守の働きかけと、青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動を実施し、社会環境の健全化を図った市町村等に補助金を交付。
環境健全化啓発事業	R6.6～R7.3	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(秋のこどもまんなか月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。

令和6年度収支決算書

■ 一般会計

1 収入の部

単位：円

項目	当初予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会費	1,044,500	1,043,000	△ 1,500	@500 円× 2,086 人
2 補助金	1,519,000	1,400,640	△ 118,360	県補助金 事業費補助 300,000 円 店舗訪問活動費 1,100,640 円
3 青少年相談員手帳販売	320,000	259,200	△ 60,800	青少年相談員手帳販売収入 @600 円× 432 冊
4 雑収入	582	389	△ 193	預金利子
5 繰越金	368,918	368,918	0	前年度繰越額
計	3,253,000	3,072,147	△ 180,853	

2 支出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会議費	278,000	224,225	△ 53,775	
総会費	130,000	97,245	△ 32,755	会場使用料、資料印刷代等
常任理事会費	131,000	113,590	△ 17,410	役員旅費等
その他会議費	17,000	13,390	△ 3,610	三役会役員旅費等
2 事業費	2,839,000	2,474,889	△ 364,111	
機関紙発行費	100,000	93,533	△ 6,467	2,700 部× 1 回 (52 号)
研修大会費	350,000	322,730	△ 27,270	講師派遣委託料、看板作成、大会プログラム印刷等
功労者表彰費	45,000	29,535	△ 15,465	感謝状等
ブロック研修会費	645,000	580,496	△ 64,504	8 ブロック× @ 80,000、振込手数料 ※返還有
地域活動推進費	160,000	84,175	△ 75,825	関係機関訪問旅費
青少年相談員手帳発行費	320,000	263,780	△ 56,220	相談員手帳 440 冊作成 (432 冊 + 予備等 8 冊)
補助費(店舗等訪問業務補助金)	1,219,000	1,100,640	△ 118,360	「協力する店」店舗訪問及びインターネット安全利用普及啓発業務補助
3 負担金	6,000	5,000	△ 1,000	(公社) 茨城県青少年育成協会年会費
4 事務費	70,000	71,220	1,220	通信運搬費、補助金振込手数料等
5 積立金	50,000	50,000	0	55 周年記念誌発行資金積立
6 予備費	10,000	0	△ 10,000	
計	3,253,000	2,825,334	△ 427,666	

3 収入－支出

単位：円

	予算額	決算額	比較増減額	摘要
収入総額	3,253,000	3,072,147	△ 180,853	
支出総額	3,253,000	2,825,334	△ 427,666	
差引残高	0	246,813	246,813	次年度予算へ繰越

■ 特別会計 記念誌積立金 (R3-R7)

単位：円

科目	前年度繰越金	令和6年度中		令和6年度末現在高	付記
		増	減		
積立金	150,000	50,000	0	200,000	
雑収入	3	3	0	6	
計	150,003	50,003	0	200,006	

令和7年度

茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)運営方針及び事業計画

運営方針

国は、全てのこどもや若者が、保護者や社会に支えられ、生活に必要な知恵を身に付けながら不安や悩みを抱えたり、困ったりしても、周囲のおとなや社会にサポートされ、問題を解消したり、乗り越えたりすることができる社会の実現を目指しています。

こうした中、茨城県こども計画で基本目標としている「全てのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる『こどもまんなか社会』」を実現するためには、家庭や学校、地域そして警察等関係機関・団体が連携・協働して取組む必要があります。そこで、当会としては、各種研修会等を実施し、青少年相談員の資質向上を図るほか、青少年相談員活動の一層の活性化を図られるよう各地区協議会を支援するなど、青少年に及んでいる様々な問題に対応していきます。

また、「青少年健全育成に協力する店」登録等活動や青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動など、青少年を取り巻く社会環境の健全化に、より一層取組んでまいります。

重点事業項目

1. 青少年相談員研修大会の開催
2. ブロック研修会の開催
(研究・協議を含む)
3. 環境健全化啓発活動の推進
(「青少年の健全育成に協力する店」登録等活動、インターネット安全利用に関する意識啓発活動の推進 等)
4. 関係機関・団体等の事業への協力及び連携促進
5. 青少年相談員の新たな取り組みへの理解・協力

事業計画

実施事業名	実施期日	事業の概要
総会の開催	R7.5.30	・令和6年度事業報告及び収支決算について ・令和7年度運営方針及び事業計画、予算について(会場:茨城県市町村会館)
常任理事会の開催	随時	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。
その他の会議	① R7.4 ② 随時	① 監査(高萩市会場、つくば市会場) ② 編集会議の開催
機関紙の発行	R7.12(第53号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
記念誌の発行	R8.3	55周年記念事業として、記念誌を発行。
第55回青少年相談員研修大会	R7.10 下旬	55周年記念事業として、青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修大会を開催(会場:県庁9階講堂)。
功労者の表彰	R7.10 下旬	功労のあった青少年相談員に対し、県知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長やブロック選出の常任理事が参加し、情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携を強化。
ブロック研修会の開催	R7.10 ~ R8.3	ブロック研修会を通して、青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進。
地域活動推進 (関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動を推進。 ・茨城県暴走族対策会議への参加。 ・社会を明るくする運動への参加。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等への参加。 ・茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会及び20歳未満喫煙防止街頭キャンペーンへの参加。
地域活動推進 (地域活動への支援)	R7.6 ~ R8.3	青少年の健全育成を推進する青少年相談員の地域活動を支援。
青少年相談員手帳の販売	R7.6	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を印刷・販売。
市町村等への補助金交付	R8.3	コンビニエンスストア等の青少年がよく立ち寄る業種の店舗への条例・関係法令遵守の働きかけと、青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動を実施し、社会環境の健全化を図った市町村等に補助金を交付。
環境健全化啓発事業	通年	7月(青少年の被害・非行防止全国強調月間)及び11月(秋のこどもまんなか月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。
新たな取り組みの推進	通年	子育て支援のボランティア、里親制度、インターネット安全利用の普及啓発活動への理解と協力。

青少年相談員の活動紹介



第3ブロック

大洗地区

青少年の健全育成のために

大洗町青少年相談員連絡協議会 会長 田山 忠

大洗町青少年相談員は、19名で活動しています。

隔月で実施している定例会は、学校教育課指導室、大洗地区交番長にも出席をいただき、地域の現状や課題などを共有しています。「朝、元氣よくあいさつをしてくれる子が今日は元氣がなかった」「あのコンビニには、夜に生徒が集まっているようだ」など、気になることを報告し合い、教員目線や法令に基づいた助言から、活動を支援していただいています。また、地域の小さな気づきから、学校への情報共有や警察のパトロールの強化など、関係機関が一丸となって解決へ取り組んでいくこともあります。小さなことでもすぐに情報が共有され、取り組みへとつながっているのは、この町ならではの強みかもしれません。

そのほかにも、関係機関と協力し、夏休み前に小中・高等学校との合同懇談会を実施しています。民生委員・児童委員・保護司・更生保護女性会と各機関事務局の福



祉課、こども課、生涯学習課職員が各学校を訪問し、懇談を行っています。より効果的な対応ができるよう、相談員は「地域の目」として関係機関と連携し、地域で子どもたちを育て、支援していく体制づくりに努めています。

第4ブロック

鹿嶋地区

鹿嶋市青少年相談員の活動について

鹿嶋市青少年相談員連絡会 会長 堺田 孝志

鹿嶋市青少年相談員連絡会は、市内小・中学校と高等学校教員21名を含む47名で構成されており、5班に分かれて活動を行っています。

コロナ禍で活動が難しい時期もありましたが、コロナ禍も収まり活動を再開しました。

主な活動として、鹿島神宮で執り行われる「神幸祭」や「祭頭祭」、市の行事である「鹿嶋まつり」や「鹿嶋市花火大会」において、青少年の非行防止を目的として巡回活動を行っています。

市内全小学校の登校時においては、年に2回「あいさつ声かけ運動」を実施し、子ども達とコミュニケーションを取り、学校と地域、相談員の交流を図っています。また、市内の全中学校を対象に下校の見守り活動を行い、中学生の安全な



下校を促しております。秋頃には「青少年の健全育成に協力する店」登録活動を実施し、たばこの販売時の年齢確認や深夜に来店した青少年への声掛けなどの依頼を行います。非行防止の協力を呼びかけております。

年々、青少年相談員も減少の一途をたどり、厳しい状況が続きますが、地域や学校、関係各所との連携を図りながら青少年の健全育成のために、より一層取り組んでまいります。

龍ヶ崎地区

龍ヶ崎市青少年相談員連絡協議会 会長 小更 修



龍ヶ崎市青少年相談員連絡協議会は現在、一般相談員17名と市内の小中高等学校の教員19名からなる36名で構成されており、主に3つの活動を行っています。

①「青色パトロール車による街中巡回」は、隔週の木曜日に青少年相談員が2人1組となり、15時30分及び17時（8月～12月限定）から1時間程度、青少年が集まりやすい場所や不審者情報が出た場所を中心に巡回を行っています。

②「青少年の健全育成に協力する店の店舗訪問」は、青少年の利用頻度が高い店舗に協力店として登録してもらい、来店する青少年の状況について情報交換及び環境整備を図っています。

③「インターネット安全利用に関する意識啓発のための団体等訪問活動」は、夏休み期間中の学童保育ルームへ訪問し、小学3年生～6年生を対象に動画教材等を用いたインターネット安全利用についての啓発活動を30分程度実施しています。

今後も、関係団体や学校等と連携しながら、青少年が健全に育つ環境を整備していきたいと考えております。

八千代地区

八千代町青少年相談員協議会 会長 北島 直廣

今更言うまでもなく、最近の青少年を取り巻く環境は日々刻々目まぐるしく変化しています。そんな折、こんなことを感じています。日常のニュース等にもみられる事件・事故の多さ、それは社会の生きずらさが関係しているのでは？と。子どもたちを取り巻く問題、不登校児の増加のこと、いじめのこと、学校で起っていること、プラットホームはあるのか、SNS、OD等々あとからあとから起こる社会現象、一人ひとりと考えていかねばと正義感ではないけれどなんとかしなくては！しかし一人いきがっても到底できません。でもそこそこ意識を持つて対応する、寄り添うことは何とかできそうです。それには研鑽、体験を積む事も必要でしょう。

こんな本を読みました。ヨシタケシンスケさんの絵本『にげてさがして』。へよのなかには、いろんなひとがいる。へよのなかにならず「そぞうりよくをつかうのがいてなひと」がいる。作者自身が体験したことから自らとった行動は「にげること」。「しんどい気持ち」をこう吐露している。

厚労省によると、自殺で亡くなった小中高生が昨年529人にのぼった。全世代では減少傾向なのに、子どもの自殺は増えている。自殺の原因・動機で一番多いのは、「学校問題」の272件だ。特に気になるのは「学友との不和（いじめ以外）」で60件あったそう。どんなに苦しんだのか。どんな「そぞうりよく」を欠いた

行為で追い詰められたのか。逃げるのは決して恥ずかしいことではない。そして、逃げて落ち着いた後でいいから、またゆっくり歩きだして欲しいと言っている。ヨシタケさんもこの本で、大事な人を探しに行こうと呼びかけている。「かならずいる」からと。(朝日新聞・コラムから)

八千代町青少年相談員協議会は26人（うち女性3人・現職教員2人）で構成され活動しています。数年前から町在住の未就学児や小学生低学年が参加者の中心ですが、「こども体験フェスタ」にボランティアの女性団体の皆さんと参加させてもらっています。少子化時代、大事な子どもたち・保護者との交流が大事な活力にもなっています。

巡回パトロールや声かけ・あいさつ運動も定着し楽しく行っています。総会時に指導員の先生を招いてSNSでの最新情報の勉強会や警察署の事案をお聞きして自らの肥やしにしています。

と関係団体
と連携や
ブロック
修会での研
鑽を積んで
の資相談員
に資質向上
の方向を以
て考えてい
るところで
す。



